

a la carte.

2018.8

# あらかると

# 379

第7回 チャリティゴルフコンペ



大玉村・マチュピチュ村 友好都市記念

協力: 大玉村

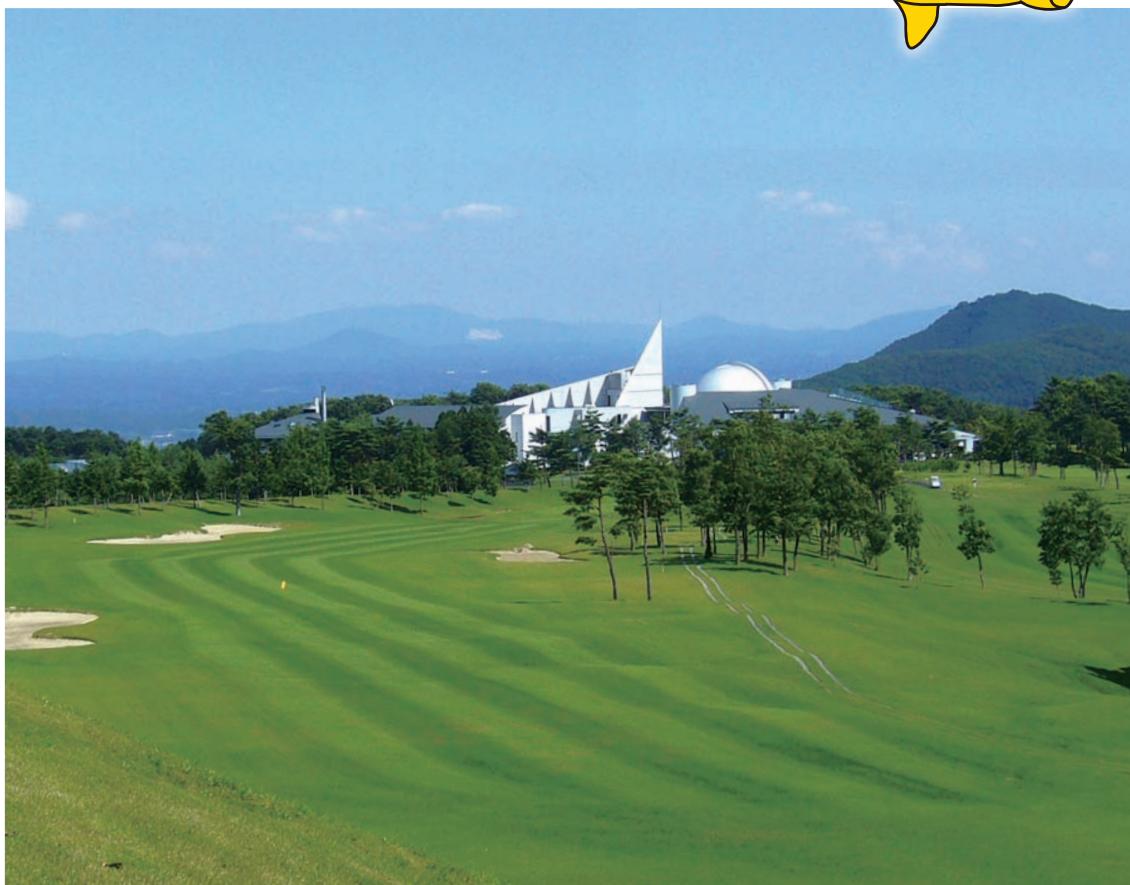


photo : 大玉カントリークラブ

あだたらの麓 ゆたかな大玉村にいだかれて  
第7回 チャリティゴルフコンペ  
ときまるカップ2018





KFB 福島放送 主催  
第7回 チャリティゴルフコンペ

あだたらの麓 ゆたかな大玉村にいだかれて

2018  
9.24  
(月・祝)

# ☆ときまるCUP 2018

大玉村・マチュピチュ村 友好都市記念 協力: 大玉村

2011年、未曾有の災害をもたらした東日本大震災。その翌年、復興支援の一助として、ゴルフを通じ、福島県民に少しでも元気になってもらおうとはじめたチャリティゴルフコンペ。それがときまるカップです。

## 震災の翌年から一步をふみだす

東日本大震災から1年の歳月を経てもなお、県内のいたるところ、震災の生々しい傷跡がまだまだ残る状況のなか、震災前の生活を少しでもとりもどそうと、福島県や市町村が一丸となって、さまざまな活動にとりこんでいました。そんな折り、KFB福島放送(テレビ朝日系列)が、福島県内のテレビ局としても、正確な情報を報道するだけでなく、何とか、福島県民のお役にたることはいかないか、心身ともにストレスを解消できるようなことはいかないかと、各方面の方々と模索していたとき、同じ考えをもつ県内でも数多くのゴルフ場を運営するカネキグループと運命的に出会います。それが、ときまるカップのはじまりでした。

## あれから7年。平成をしめくくる

福島県内では各種開催されているチャリティゴルフコンペのなかで、この復興支援をかけた第1回ときまるカップは、2012年秋に開催されました。このときから第3回まで、白河国際カントリークラブが会場となり、第4回大会から現在の大玉カントリークラブへと会場をうつし、今年で第7回目をむかえます。昨年の第6回大会では、参加組数71組、参加者数247名をかぞえるほど、大変多くの方々のご賛同をいただき、チャリティゴルフコンペの寄付金も約35万円にものぼりました。昨年からは、その寄付金を、大玉村と友好都市協定を締結したペルー共和国のマチュピチュ村へ贈呈。今年は平成最後のときまるカップとなります。



昨年の受付でお出迎えのときまる



昨年のコスキン・エン・ハポンの演奏



大玉村役場正面玄関

主催／KFB 福島放送  
TEL 024-933-1111(代表)  
<https://www.kfb.co.jp/>

会場／大玉カントリークラブ  
TEL 0243-48-2111  
<http://www.ohtamacc.jp/>

企画・運営／株式会社ケンオリ





## ふくしまの今、彩発見。

vol.36 伊達市「道の駅 伊達の郷りょうぜん」

国道115号と東北中央自動車道の相馬福島道路(復興支援道路)の靈山ICへアクセスする好立地な場所に、福島県内33番目の道の駅として、道の駅伊達の郷りょうぜんが今年の3月24日オープンしました。「山間と農村に浮かぶ宿場ビストロ」をテーマに、「伊達食」にこだわった伊達市初の道の駅には、伊達鶏、だてハーブ鶏、伊達野菜など厳選素材の豊富なメニューがあじわえる「だて食庵」や牧場直営の超人気ジェラート店「まきばのジャージー」も出店。6月末すでに来場者数が60万人を上回るほど、地元の方はもちろん、県内外から多くのお客様が訪れ、店内はいつもぎわっています。

まきばのジャージー  
擦りたて濃厚手作りジェラート

「伊達」な桃のおみやげ



## 道の駅 伊達の郷りょうぜん

福島県伊達市靈山町下小国字桜町3-1

TEL 024-573-4880 FAX 024-573-4838

<http://michinoeki-datenosato-ryozan.jp/>浜中会津webサイト公開中!  
<http://fukuori.com/kitemina/>

## 福島県民家計消費ランキング

## 桃

黄桃、水蜜桃、白桃

## 「桃」で福島県はなんと第一位。

福島県は平成29年桃消費額第1位。平成27年からの3年間の平均でも消費額、消費量とも第1位となっている。

生産量では福島県は山梨県に次いで全国2位。福島市は県内の第1位の生産量を誇る。市北部を走る国道13号線は別名「ピーチライン」で両側に果樹園、直売所が並ぶ。福島市民は桃を「箱買い」するのである。もちろんお中元の定番でもある。原発事故の風評被害はここにもあるが、近年は回復しつつあるという。

福島県の桃の主力品種は「あかつき」で、甘くて香りよい硬い実が特長。硬い桃好きは福島、山梨の人々が多く、産地が近く鮮度の良い硬い桃を食べ慣れているためであるらしい。

総務省統計局の家計調査(二人以上の世帯)から、福島県民の消費嗜好をピックアップ。福島県民が「なに」に「いくら」使っているかを研究します。

## 都市階級・地方・都道府県所在市別 1世帯当たり支出金額

上位5県	順位	前年順位	地区	都市	都市名	2017年	2016年
/ 1 (3)	(3)	北海道・東北	福島県	福島市	6,229	3,838	
→ 2 (2)	(2)	関東	山梨県	甲府市	4,259	4,536	
↘ 3 (1)	(1)	中国	岡山県	岡山市	3,753	4,935	
→ 4 (4)	(4)	近畿	和歌山県	和歌山市	3,396	2,814	
/ 5 (18)	(18)	関東	神奈川県	川崎市	2,227	1,099	

下位5県	順位	前年順位	地区	都市	都市名	2017年	2016年
↘ 48 (23)	(23)	東海	静岡県	静岡市	530	1,043	
/ 49 (51)	(51)	九州・沖縄	鹿児島県	鹿児島市	520	377	
↘ 50 (48)	(48)	九州・沖縄	熊本県	熊本市	459	543	
↘ 51 (45)	(45)	九州・沖縄	宮崎県	宮崎市	361	567	
→ 52 (52)	(52)	九州・沖縄	沖縄県	那覇市	338	312	

出典：総務省統計局「家計調査(二人以上の世帯)調査結果」2017年  
政令指定都市の川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市を含むため、総数は52都市です

2018

9

September 長月

今日は何の日？

sun

mon

tue

wed

thu

fri

sat



招き猫の日(9/29)：「9月29日」が選ばれたのは、来る(9)ふ(2)く(9)の語呂合わせから。一説によると、あるお寺の前を武士が通りかかると一匹の猫が自分を手招きするので入ってみると、突然激しい夕立、武士は名家の家柄、招きいってくれた猫のお陰で夕立を凌げたと甚く喜び、その後そのお寺に繁栄をもたらしたとか。「猫が顔を洗うと雨が降る」の言い伝えがある招き猫の仕草なんですね。



1  
二百十日  
防災の日

2

くつの日  
宝くじの日

3

グミの日  
クエン酸の日

4

串の日  
くじらの日

5

石炭の日  
国民栄誉賞の日

6

黒酢の日  
妹の日

7

CMソングの日  
クリーナーの日

8

白露(二十四節気)  
長沼まつり(須賀川市)

9

ポップコーンの日  
栗さんとの日

10



新聞休刊日

11

アメリカ同時多発テロ(2001)  
警察相談の日

12

豆腐の日  
宇宙の日

13

世界の法の日  
乃木大将の日

14

白河提灯まつり～9/16  
グリーンティー(キウイフルーツを漬ける日)

15

大阪寿司の日  
ヒジキの日

16

ばんげ秋祭り(会津坂下町)  
マッチの日

17

敬老の日  
キュートな日

18

かいわれ大根の日  
おにぎりの日

19

苗字の日  
食育の日

20

彼岸入り  
バスの日

21

ガトーショコラの日  
ファッショントリートの日

22

会津まつり(会津若松市)～9/24  
カーフリーダー

23

秋分の日  
国見町義経まつり

24

振替休日  
清掃の日

25

主婦休みの日  
プリンの日

26

風呂の日  
ブルーンの日

27

世界観光の日  
女性ドライバーの日

28

牛乳屋さんの日  
プライバシーデー

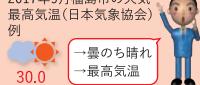
29

クリーニングの日  
招き猫の日

30

くるみの日  
クレーンの日

9月は台風シーズン、気象庁のホームページによると、年間で過去一番多く台風が発生したのは1967年の39回、一番少ないのは2010年の14回です。9月平均発生回数は約5回、また、9月17日頃と9月26日頃は大型台風襲来の特異日とされているそうです。





高橋 幸司 たかはしこうじ

有限会社高橋幸司の事務所取締役社長。価値負けしない店・人づくりマン、中小企業診断士。お客様に「あなたの店がないと、私、困っちゃう」と言わせる。存在価値で負けない店づくりを志向。商売大好きオーナーの店だけを一所懸命コンサルティングするかたわら、社員教育、マーケティングセミナー、創業塾、各種講演、執筆もどんどんこなす。1966年福島県生まれ。



## 仕入れのこたえ合わせ

既存サービスにひと手間加えて活性化！

包装紙を見て「開けるのが楽しみ」と、喜ばれる店がある。東日本大震災から6年が経ち平成29年によくやく仮設から本設店舗へ引越すことができた器・雑貨・酒を扱う店だ。秀逸な品揃えに惹かれ「観るだけでも楽しい」と、市外から足を運ぶお客様は仮設店舗時代も変わらず。全国の小売店を取材し月刊誌に執筆しているジャーナリストも「本当に仮設?すばらしい!」と、目を丸くしていた。品揃えは商いの第一ボタン。今日はこの店の仕入れ行動を解き明かし、改めてその重要性を確認してみたい。

仮設店舗時代の店主に「国内外のメーカーが集う大きな展示会で商品を探すのですか?」と、聴いたところ「メーカー独自の小さな展示会に出かけます」と、意外なこたえが返ってきたことがあった。更に、夫婦で仕入れに出かけても会場では別行動だという。それぞれ商品を吟味し、後で落ち合い「あれがよかった」と、こたえ合わせをする。そこで「やっぱり」と意見が合った物だけを発注するという。時には、未知の分野で高価な商品に惹かれることもある。勇気のある仕入れだが、陳列すると案の定お客様も棚の前から離れなくなるという。現品が無

くてもカタログを開き自信を持って紹介する。これもメーカーに足を運び全種類を観た強みだ。

考えてみれば、大きな展示会に出る商品は、多くの店主の目に触れる。魅力的な商品ほど引合も多いだろう。もちろん取引条件があるので手を挙げた店全てに並ぶわけではないが、エッヂの効いた品揃えを志向する店なら他店に無い商品が欲しくなる。その点、魅力的なのが露出の少ない商品だ。もちろんメーカー発掘に手間を要し目利きありきの商談になるが、こうした地道な活動が仕入れの勘を磨き、ダンプが砂埃をあげて行き来する場所にあるプレハブ仮設店舗でも、お客様をつなぎとめて離さない品揃えが実現できたのだ。

かくいう私もコンサルティング中に目にした鬼瓦職人の置物を購入し玄関に飾っている。一目惚れだった。冒頭の「開けるのが楽しみ」も納得だが、定期的に見に行きたい店・ちょっと気の利いたものが欲しい時に外せない店もある。存在価値で負けない店とは、まさしくこんな店だ。

(平成30年2月5日執筆)

## てつこちやん

vol.73

キラ アスカ作



仲間たち  
ゆかいな  
ケンオリの

column

03

## 会津人の原点 什の掟

じゅう

会津若松営業所



所長+3名の所員で元気に営業中です!

会津藩も戦った戊辰戦争から今年で150年となります。

会津若松営業所は、まずは50周年を目指して邁進してまいります。

つながって、はじまる。

株式会社 ケンオリ

<http://kenori.com/>



【本社】〒963-0724 郡山市田村町上行合字北川田26-3 tel.(024)944-8400 fax.(024)944-9980

【福島支社】〒960-2101 福島市さくら3-2-7  
tel.(024)594-2155 fax.(024)594-2156

【会津若松営業所】〒965-0059 会津若松市インター西75  
tel.(0242)22-6300 fax.(0242)22-6302

【いわき営業所】〒970-8025 いわき市平南白土2-6-3  
tel.(0246)24-2500 fax.(0246)24-2504

【仙台営業所】〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-24 錦ビル2F-A  
tel.(022)217-6766 fax.(022)721-5580